

**[CLP]規則(EC) No. 1272/2008 に従った危険有害性情報の伝達、安全性データシート**  
**二酸化炭素吸収剤 Spherasorb, Intersorb Plus, LoFloSorb 及びこれらが充填されているキャニスター**

SDS Ref MH23022020ABS Issue 1: 23<sup>rd</sup> February 2020

1.1 製品の識別子：この安全性データシートは下記の二酸化炭素吸収剤製品を対象とする。

改定番号および変更内容は 16.1 を参照のこと。

商品名/名称

2172000	Spherasorb バッグ、ピンクから白へ色変化
2173000	Spherasorb バッグ、白から紫へ色変化
2174000	Spherasorb ジェリカン、ピンクから白へ色変化
2175000	Spherasorb ジェリカン、白から紫へ色変化
2183003	Spherasorb IS Pac ディスポーザブルCO <sub>2</sub> アブソーバー、白から紫へ色変化
2183004	Spherasorb IS Pac, ディスポーザブルCO <sub>2</sub> アブソーバー、ピンクから白へ色変化
2186000	Spherasorb Drum, CO <sub>2</sub> 吸収剤カートリッジ、白から紫へ色変化
2187000	Spherasorb Drum, CO <sub>2</sub> 吸収剤カートリッジ、ピンクから白へ色変化
2191001	Spherasorb Pyramid, ディスポーザブルCO <sub>2</sub> アブソーバー、白から紫へ色変化
2192001	Spherasorb Pyramid, ディスポーザブルCO <sub>2</sub> アブソーバー、ピンクから白へ色変化
2196000	Spherasorb IS Can, ディスポーザブルCO <sub>2</sub> アブソーバー、白から紫へ色変化
2197000	Spherasorb IS Can, ディスポーザブルCO <sub>2</sub> アブソーバー、ピンクから白へ色変化
2199001	Spherasorb AbCan, ディスポーザブルCO <sub>2</sub> アブソーバー、白から紫へ色変化
2199002	Spherasorb AbCan, ディスポーザブルCO <sub>2</sub> アブソーバー、ピンクから白へ色変化
2130000	Spherasorb Clear-Flo 1.6m麻酔回路、吸収剤、ピンクから白へ色変化
2131000	Spherasorb Clear-Flo 1.6m麻酔回路、吸収剤、白から紫へ色変化
2132000	Spherasorb Clear-Flo 1.6mインナールーメン付き麻酔回路、吸収剤、ピンクから白へ色変化
2133000	Spherasorb Clear-Flo 1.6mインナールーメン付き麻酔回路、吸収剤、白から紫へ色変化
2179000	Intersorb Plus ジェリカン、白から紫へ色変化
2180000	Intersorb Plus ジェリカン、ピンクから白へ色変化
2178000	LoFloSorb ジェリカン、緑から紫へ色変化
2183005	LoFloSorb IS Pac, ディスポーザブルCO <sub>2</sub> アブソーバー、緑から紫へ色変化
2188000	LoFloSorb Drum, CO <sub>2</sub> 吸収剤カートリッジ、緑から紫へ色変化
2193001	LoFloSorb Pyramid, ディスポーザブルCO <sub>2</sub> アブソーバー、緑から紫へ色変化
2198000	LoFloSorb IS Can, ディスポーザブルCO <sub>2</sub> アブソーバー、緑から紫へ色変化
2199003	
1.2 単一製品または混合物の認識されている使用と、使用に対するアドバイス	<p>ガスの流れから二酸化炭素を除去するための医療、獣医学、ラボラトリー使用を目的とする。</p> <p>使用に関するアドバイス：無し</p>

1.3 安全性データシートの供給者情報	Intersurgical Ltd, Crane House, Molly Millars Lane, Wokingham, Berkshire, RG41 2RZ, United Kingdom Tel 0044 (0)1189 656300 Fax 0044 (0)1189 656356 Email info@intersurgical.co.uk Web: www.intersurgical.com
1.4 緊急連絡先	Tel 0044 (0)1189 656300 Email info@intersurgical.co.uk

<b>2. 危険情報</b> セクション 1.1 で示す全製品が対象							
2.1 単一製品または混合物の分類	<p>[CLP]規則(EC) No. 1272/2008に従った分類</p> <div style="text-align: center;">  </div> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">分類</td> <td>ハザードステートメント</td> </tr> <tr> <td>H315</td> <td>皮膚刺激</td> </tr> <tr> <td>H318</td> <td>重篤な目の損傷</td> </tr> </table>	分類	ハザードステートメント	H315	皮膚刺激	H318	重篤な目の損傷
分類	ハザードステートメント						
H315	皮膚刺激						
H318	重篤な目の損傷						

<p>2.2 ラベル表示</p>	<p>[CLP]規則(EC) No. 1272/2008に従ったラベル表示</p> <p>ハザードピクトグラム</p>  <p>注意喚起 警告          クラス 刺激          製品識別 水酸化カルシウム;水酸化ナトリウム          分類 ハザードステートメント          H315 皮膚刺激          H318 重篤な目の損傷</p> <p>注意事項:</p> <p>P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。          P302/P352 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗い流すこと。          P305/351/338 目に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。          P332/313 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。          皮膚刺激が生じた場合洗浄を続けること。: 医師の診断/手当を受けること</p>
<p>2.3 その他の危険</p>	<p>なし</p>

**3.組成/情報**

3.1 二酸化炭素吸収剤の成分: 製造通り

成分	CAS 番号	EINECS / ELINCS	分類 (EC 1272/2008)	Spherasorb ソーダライム 白から紫へ色変化	Spherasorb ソーダライム ピンクから白へ色変化	Intersorb Plus ソーダライム 白から紫へ色変化	Intersorb Plus ソーダライム ピンクから白へ色変化	LoFloSorb CO <sub>2</sub> 吸収剤 緑から紫へ色変化
				2173000 2175000 2183003 2186000 2191001 2196000 2199001 2130000 2132000	2172000 2174000 2183004 2187000 2192001 2197000 2199002 2131000 2133000	2179000	2180000	2178000 2183005 2188000 2193001 2198000 2199003
				含有量 (% 重量)	含有量 (% 重量)	含有量 (% 重量)	含有量 (% 重量)	含有量 (% 重量)
水酸化カルシウム	1305-62-0	215-137-3	皮膚刺激 H315 眼の損傷 H318	75 - 80 %	75 - 80 %	80 - 85 %	80 - 85 %	75 - 80 %
水酸化ナトリウム	1310-73-2	215-185-5	皮膚の薬傷 1A:H314	2 %未満	2 %未満	4 %未満	4 %未満	0
ゼオライト	1318-02-1	215-283-8	非該当	4 - 5 %	4 - 5 %	0	0	0
シリカ	112926-00-8	231-545-4	非該当	0	0	0	0	6 % - 7 %
エチルバイオレット	2390-59-2	219-231-5	非該当	0.1 %未満	0	0.1 %未満	0	0.1 %未満
チタンイエロー	1829-00-1	217-377-4	非該当	0	0.1 %未満	0	0.1 %未満	0
ピグメントグリーン	1328-53-6 及び 5102-83-0	215-524-7 228-787-8	非該当	0	0	0	0	0.1 %未満
水				13.5% - 17.5%	13.5% - 17.5%	13.5% - 17.5%	13.5% - 17.5%	13.5% - 17.5%

**4. 応急処置** セクション 1.1 で示す製品が対象

4.1 応急処置

一般情報

事故や状態が良くない場合、すぐに医療指示を受けること（可能な場合は、使用方法または安全データシートを見せること）。  
被害者を危険区域から連れ出すこと。  
被害者の体を覆い温め、休ませること。  
患者を一人にしないこと。

吸入した場合

新鮮な空気を吸える場所に移動し、楽に呼吸ができるようにすること。  
意識が無く、通常に呼吸している場合は回復体位を取り、医療指示を受けること。  
マウストゥマウス、マウストゥノーズの蘇生をしないこと。バッグまたは人工呼吸器を使用する

皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類を脱ぐこと。  
皮膚に付着した場合、直ちに多量の水と石鹸で洗い流すこと。  
汚染した衣類を直ちに抜くこと。  
皮膚に刺激がある場合、医師に相談すること。  
腐食損傷は治療を受けなかった場合治りづらいため、直ちに医療措置を受けること。

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。洗浄を続けること。  
目に入った場合、目を開けたまま 10～15 分間大量の流水で洗うこと。眼科医に相談すること。

飲み込んだ場合

	<p>意識がない場合やけいれんを起こしている場合には、口に何も入れないこと。</p> <p>飲み込んだ場合：口を漱ぐこと。</p> <p>無理に吐かないこと。</p> <p>応急処置者は自己防護をすること。</p> <p>応急処置者： 自己防護に注を払うこと。</p>
4.2 急性および遅延性の最も重要な症状と影響	目の刺激
4.3 即座の医療処置と必要な特別な処置	<p>医師のための注意事項</p> <p>症状に応じて治療すること。</p>

<b>5. 火災時の措置</b> セクション1.1で示す製品が対象	
<p>5.1 消火剤</p> <p>適切な消火剤</p> <p>不適切な消火剤</p>	<p>粉末消火剤</p> <p>強いウォータージェット。二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を使用しないこと。</p>
5.2 物質から、または混合により発生する特別な危険	<p>加熱または火災においては有毒ガスが生成される可能性がある。</p> <p>純二酸化炭素または高濃度の二酸化炭素と激しい熱反応を起こす。</p> <p>酸と激しく反応する。</p>
5.3 消火を行う者への注意事項	自給式呼吸器および化学防護服を着用すること。

6.漏出時の措置 セクション 1.1 で示す製品が対象	
6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	<p>保護具を着用すること。</p> <p>安全な場所へ移動すること。</p> <p>適切な呼吸用保護具を使用すること。</p> <p>換気をよくすること。</p>
6.2 環境に対する注意事項	<p>廃棄物を収集し、確保すること。</p> <p>水や排水溝に流さないこと。</p>
6.3 汚染物質の清掃方法	<p>回収物質は廃棄処理に規定されるように扱うこと。</p> <p>廃棄に適した密閉容器に収集すること。</p> <p>汚染物や区域を環境規制に従って徹底的に清掃すること。</p> <p>汚染区域を換気すること。</p>
6.4 他のセクションの参照	<p>安全な取り扱い：セクション 7 を参照すること。</p> <p>廃棄：セクション 13 を参照すること。</p> <p>個人用保護具：セクション 8 を参照すること。</p>

7.取扱いおよび保管 セクション 1.1 で示す製品が対象	
7.1 安全な取扱いのための注意事項	<p>良好な衛生と安全慣習に従って取り扱うこと。</p> <p>粉塵の発生と蓄積を最小限に抑えること。</p> <p>飲み込んだり吸入したりしないこと。</p>
7.2 混触禁止と安全な保管条件	<p>しっかりと密閉された容器内で保管すること。</p> <p>乾燥した、換気の良い場所で、互換性のない物質から離して保管すること。</p>

	<p>直射日光の当たる場所で保管しないこと。</p> <p>強酸から離して保管すること。</p> <p>湿気から保護すること。</p> <p>可能であれば室温で保管すること。しかし-20°C～+50°Cの温度範囲外では保管しないこと。</p> <p>完全に乾燥させないこと。</p> <p>本品を貯蔵または取り扱う施設は、洗眼設備を整えておくこと。</p> <p>子供の手の届かないところに保管すること。食品または動物の餌の近くに保管しないこと。</p>
7.3 特定の最終使用	二酸化炭素を吸収するため

**8. 暴露防止/個人用保護具** セクション 1.1 で示す製品が対象

## 8.1 制御パラメータ

職業性暴露限界

物質	値	単位	タイプ
水酸化カルシウム 1305-62-0	4 1	ミリグラム/立方メートル ミリグラム/立方メートル	短期暴露限界 長期暴露限界 (TWA)
水酸化ナトリウム 1310-73-2	2	ミリグラム/立方メートル	短期暴露限界

## 8.2 暴露防止

技術対策： 特別な場所で使用し、十分な換気対策を採ること。



個人用保護具

眼/顔の保護： 認知された安全ゴーグルまたはフェイスシールドを着用すること。

皮膚の保護： ゴム製またはプラスチック製の保護手袋を着用すること。

防護服： 皮膚との接触を適度に予防できる適切な衣類を着用すること。

呼吸器の保護： ドラフトチャンバー内で作業し、粉塵が発生する場合は呼吸器を着用すること。ダストフィルターP2（細かい粉塵用）

追加情報：休憩前と作業後は手を洗うこと。皮膚や目との接触を避けること。飲食や喫煙を避けること。洗眼器を用意すること。

9.物理的および化学的性質      セクション 1.1 で示す製品が対象	
9.1 粒子の基本的な物理的及び化学的特性に関する情報	
外観	3- 4 mm の硬い多孔性粒子
臭い：	わずかな化学臭
臭気閾値	データなし
pH 値	PH14
融点/凝固点	非該当
沸点と沸騰範囲	非該当
引火点	データなし
蒸発速度	非該当
引火性：	爆発の危険があるとは考えられていない。
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
相対密度	0.70～0.85 g/ml
可溶性	水に微溶
発火温度	データなし
分解温度	酸化物への熱分解は 500 度以上
粘度	非該当
爆発性	爆発の危険があるとは考えられていない。
酸化特性	非該当
9.2 その他の安全性情報	無し

<b>10.安定性および反応性</b> セクション 1.1 で示す製品が対象	
10.1 反応性	純二酸化炭素、高濃度二酸化炭素と極度に熱反応を起こす。 酸と激しく反応する。 酸性ガスによって異なる反応を示す。
10.2 化学的安定性	正しく保管されている場合、化学的に安定している。
10.3 危険な反応の可能性：	純二酸化炭素、高濃度二酸化炭素と極度に熱反応を起こす。 酸と激しく反応する。 酸によって毒性の煙を発生することがある。
10.4 避けるべき条件：	酸との接触。 トリクロロエチレン、クロロホルムと使用しないこと。 純二酸化炭素、高濃度二酸化炭素との接触を避けること。
10.5 互換性のない素材。	いくつかの金属を腐食し、縮合重合体を劣化させる。
10.6 危険有害な分解生成物	火気または高温は、酸化カルシウム及び酸化ナトリウムの危険なガスを発生する可能性がある。

<b>11.毒性情報</b> セクション 1.1 で示す製品が対象	
11.1 急性経口毒性	混合日 無し 水酸化カルシウムデータ 経口: LD50 > 2000mg/ kg の (OECD 425、ラット)
11.2 急性経皮毒性	湿った皮膚組織、目や暴露傷に重度
11.3 急性吸入毒性	呼吸器系および経鼻への刺激性
11.4 皮膚腐食性/刺激性	湿った皮膚組織に重度
11.5 眼に対する重篤な損傷/刺激性	重篤な眼の損傷
11.6 呼吸器または皮膚感作性	データなし
11.7 STOT - 反復暴露 (STOT RE)	データなし

11.8 STOT 単回暴露 (STOT SE)	データなし
11.9 発がん性	データなし。予測されない
11.10 生殖毒性	データなし。予測されない
11.11 生殖細胞変異原性	データなし。予測されない

<b>12.環境情報</b> セクション 1.1 で示す製品が対象	概要： 生態毒性 環境に対して危険とはみなされない。 生物濃縮の可能性 生物濃縮は予測されない。 急性魚毒性 魚の急性毒性は予測されない。
12.01 短期水生毒性	混合データなし
12.02 長期水生毒性	混合データなし 混合データなし
12.03 短期堆積物の毒性	混合データなし
12.04 長期堆積物の毒性	混合データなし
12.05 持続性及び分解性	混合データなし
12.06 非生物的劣化	混合データなし： 無機混合物には関係なし
12.07 生物濃縮の可能性	混合データなし： 無機混合物には関係なし
12.08 土壌中の移動性	利用不可混合物のデータ： 低い溶解性のために低いことが予想される
12.09 PBT および vPvB 評価結果	混合データなし： 無機混合物には関係なし
12.08 その他の悪影響	混合データなし
<b>13.廃棄に対する考慮</b> セクション 1.1 で示す製品が対象	

13.1 廃棄処理方法	<p>下記の情報はガイダンスである。二酸化炭素吸収剤の廃棄は自治体の規則と、ユーザーのリスク分析に従うこと。</p> <p>インターサージカル社製二酸化炭素吸収剤は毒性物質を含まず、国連危険物リスト 2010 による危険物として分類されない。</p> <p>構成要素（成分は製品によって異なり、また使用条件、使用済みまたは未使用によって異なる。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•炭酸カルシウム（大半までゼロ）</li> <li>•水酸化カルシウム（大半まで多量）</li> <li>•炭酸ナトリウム（製品や用途に応じて、ゼロから少量）</li> <li>•水酸化ナトリウム（製品や用途に応じて、少ない割合で変化）</li> </ul> <p>ゼオライト（製品や用途に応じて、ゼロから少量）</p> <p>シリカ（製品及び用途に応じて、ゼロから少量）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•水（主要な割合で変化）</li> <li>•指示薬の跡がある場合もある。</li> <li>•揮発性麻酔薬の残留痕跡がある場合もある</li> </ul> <p>使用済み及び未使用製品は欧州廃棄物カタログ番号 18 01 06* (化学物質または危険物質を含むの HP4 の特性を有する。</p> <p>Intersurgical 社は、麻酔中の臨床使用後、特に感染患者に使用した場合(常にわかっているわけではない)、リスク評価を実施することを推奨する。それは、欧州廃棄物カタログ番号 18 01 03 *(感染を防ぐための特別な要求事項に従った収集と廃棄)におけるさらなる分類の必要性を評価することである。</p> <p>しかし、廃棄物の処分は、ユーザーによるリスク分析を実施した後、地方自治体の条例に従うこと。</p>
-------------	---

<b>14. 輸送情報</b> セクション1.1で示す製品コードすべてが対象。	
14.1 国連番号	製品は危険ではなく、該当輸送規制（ADR / RID / ADN / IMDG / ICAO / IATA）に従って免除されている。
14.2 国連出荷正式名	非該当

14.3 輸送危険有害性クラス	非該当
14.4 等級	非該当
14.5 環境有害物質	非該当
14.6 ユーザーのための特別な注意事項	非該当
14.7. MARPOL 73/78 の附属書 II および IBC コードに応じたバルク輸送	非該当

<b>15. 法令情報</b> セクション 1.1 で示す製品コードすべてが対象	
15.1 物質または混合物のための特定の安全、健康および環境規制/法規	本製品は、欧州（CLP）規則 1272/2008 に従って分類される。その他の法令は本製品には適用されない。
15.2 化学物質安全性評価	本物質のために化学物質安全性評価は実施されていない。

<b>16. その他の情報</b> セクション 1.1 で示す製品コードすべてが対象	
16.1 発行日	この安全データシートは、Intersurgical 社が知ることのできる限りの知識を用いて欧州（CLP）規制 1272/2008 に基づいて改訂された。 バージョン日：22/02/2018 印刷日：22/02/2018

		<p>以前のバージョンと比較して変更したデータ：</p> <p>この安全性データシートは、すべての Intersurgical 文書のための一般的な文書であり、上記の日付より以前のすべてのその他の Intersurgical 二酸化炭素吸収剤の安全性データシートに代わるものである。</p> <p>Intersurgical 社製吸収剤の最初の一般的な安全性データシートであるため、発行番号 1 を割り当てた。</p> <p>製品に変更はないが、1 から 16 までのすべてのセクションで、最新の情報を提供するように更新された。</p>		
16.2 略語と頭字語		<p>ADN / ADNR：内陸水路上の荷船における危険物質の輸送に関する規制。</p> <p>ADR / RID：欧州危険物国際道路輸送協定/危険物の鉄道輸送国際規制</p> <p>CAS 番号：ケミカルアブストラクトサービス番号</p> <p>CLP：分類、表示および包装</p> <p>IATA：国際航空運送協会</p> <p>IMDG：国際海上危険物コード</p> <p>N°UN: 国連番号</p> <p>N°EC: 欧州委員会番号</p> <p>vPvB 物質：非常に永続的、非常に生物濃縮</p>		
16.3 データのための主な参照文献や情報源		<p>CLP 規則 2011 によるラベルと包装に関する指針</p> <p>2015 年 11 月バージョン 3.1 の安全データシート編纂ガイダンス</p> <p>分類の世界調和システム、第 2 章</p> <p>欧州の廃棄物カタログ（2001/118/EC 改定）</p> <p>原材料や包装の安全性データシート。</p> <p>他のサプライヤーの安全性データシート。</p>		
16.4 混合物の分類及び[CLP]規制（EC）1272/2008 に従って使用された評価方法		<p>REACH 規則 EC 1907/2006、Regulation (EC) 1272/2008 及び Regulation (EC) 453/2010</p> <p>Intersurgical 社製二酸化炭素吸収剤は、化学物質の混合物であり、REACH 登録の必要はない。しかし、製造業者/輸入業者毎の製造又は輸入が 1 年につき 1 トン未満でない限り、含まれる化学物質は当社のサプライヤーにより登録される必要があります。</p>		
成分	製品	CAS 番号	EINECS / ELINCS	REACH 登録番号
水酸化カルシウム	Spherasorb, LoFloSorb, Intersorb Plus	1305-62-0	215-137-3	01-2119475151-45-0135
水酸化ナトリウム	Spherasorb, Intersorb Plus	1310-73-2	215-185-5	01-2119457892-27

ゼオライト	Spherasorb	1318年2月1日	215-283-8	01-2119429034-49-0010
シリカ	LoFloSorb	112926-00-8	231-545-4	01-2119379499-16-0446
16.5 関連 R-、H-および EUH フレーズ（ナンバーと全文）	<p>H315 皮膚刺激</p> <p>H318 重篤な目の損傷</p> <p>注意書き：</p> <p>P280 保護手袋/保護衣/眼の保護/保護面を着用すること。</p> <p>P302 / P352 皮膚に付着した場合： 多量の水と石鹸で洗い流すこと。</p> <p>P305/351/338 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。</p> <p>P332 / 313 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 皮膚刺激が生じた場合： 医師の診断/手当を受けること</p>			
16.6 トレーニングのアドバイス	この安全データシートのセクション 4、5、6、7 及び 8 を参照。			
16.7 有効期限	<p>5 年間</p> <p>2172000</p> <p>2173000</p> <p>2174000</p> <p>2175000</p> <p>2183003</p> <p>2183000</p> <p>2186000</p> <p>2187000</p> <p>2191001</p> <p>2192001</p> <p>2196000</p> <p>2197000</p> <p>2199001</p> <p>2199002</p> <p>2179000</p> <p>2180000</p>		<p>3 年間</p> <p>2178000</p> <p>2183005</p> <p>2188000</p> <p>2193001</p> <p>2198000</p> <p>2199003</p>	
16.8 免責事項	<p>SDS のこのバージョンは、以前のすべてのバージョンに取って代わる。その内容はセクション 1.1 に列挙した材料の適切な取り扱いのガイドとして意図される。この SDS の受領者の責任において、これらの製品を使用、取り扱い、処分、またはどのような方法でも接触するすべての人がここに含まれる情報を読んで理解していることを確認すること。</p> <p>この SDS は、技術的性能や特定のアプリケーションの適切性を保証するものとして解釈されるべきではなく、法的に有効な契</p>			

約関係を確立するものではない。

SDS のこのバージョンは、以前のすべてのバージョンに取って代わる。情報は私たちの現在の知識に基づいており、安全要件の観点から、私たちの製品を説明することを意図している。

2020年2月23日

連絡先：マイク・ホルダー。

電話：品質とスペシャリスト 0044 (0) 1189656361

Eメール

品質とスペシャリスト [mhol@intersurgical.co.uk](mailto:mhol@intersurgical.co.uk)

一般情報 [info@intersurgical.co.uk](mailto:info@intersurgical.co.uk)